

美人の姿を未来に伝えるために

重要文化財

上村松園筆《序の舞》(1936年) の修理を実施します

完成は2017年6月頃、
一般公開は2018年春を
予定しています

東京藝術大学の数ある所蔵品の中でも、ひと際人気の高い《序の舞》。気品高い女性美で多くの鑑賞者を魅了してきました。

しかし、近年は展示の機会を厳しく制限せざるを得ませんでした。絵具の定着力が弱ってきており、展示の度に少しずつ絵具が剥がれていく心配があったからです。

この状況を打開するため、東京藝術大学はバンクオブアメリカ・メリルリンチの文化財保護プロジェクトの支援を得て、この度、修理を施すことといたしました。

問い合わせ先：東京藝術大学大学美術館 管理係
TEL 050-5525-2439



《序の舞》は

能を愛した上村松園が仕舞の姿を描いたもので、作者会心の作と伝わっています。ゆったりとした動きの少ない舞姿ながら、扇子越しに一点を見据える表情、力が入った左右の手や垂直に伸びた姿勢により、緊張感のある画面を生み出しています。能舞台と同じく、簡素さのなかにも豊かな精神性を表現する世界観は、松園独自の境地によるものです。2000(平成12)年には重要文化財に指定されました。

この度の修理は

作品の長期保存および定期的な公開活用を目指したものです。表装を解体し、クリーニング、絵具の剥落止めなどを行います。また、今後の保存方法を検討した結果、現状の掛軸装から額装へ改装することとなりました。修理作業にあたっては、松園が試みた美人画特有の彩色技法について調査研究を行います。

東京藝術大学大学美術館は

1887(明治20)年に前身である東京美術学校の開設以来収集を続けてきた様々な作品や資料を収蔵しています。制作のための参考作品として収集された古美術品、歴代教官作品、政府買い上げ作品のなかには、国宝・重文に指定されている貴重な文化財を含んでいます。1998(平成10)年、旧芸術資料館を改組し、新たに大学美術館としてスタートした当館の使命とは、これまでに受け継いだ所蔵品、そしてこれから新たに収蔵される学生制作品などを、保存、研究、展示していくことです。



バンクオブアメリカ・メリルリンチ

バンク・オブ・アメリカは世界トップクラスの金融機関の一つであり、個人、中小企業、及び大企業を顧客とし、銀行業務、投資業務、資産運用業務、その他の財務管理及びリスク管理のための商品やサービスを幅広く提供しています。「バンクオブアメリカ・メリルリンチ」は、バンク・オブ・アメリカ・コーポレーションのグローバル・バンキングおよびグローバル・マーケッツ事業を行うための営業上のブランドネームです。融資、その他の商業銀行業務については、バンク・オブ・アメリカ・エヌ・エイを含むバンク・オブ・アメリカ・コーポレーションの銀行関連会社によって世界的に提供されます。証券、デリバティブ、戦略的助言、その他の投資銀行業務については、メリルリンチ日本証券株式会社を含むバンク・オブ・アメリカ・コーポレーションの投資銀行関連会社によって世界的に提供されます。

バンクオブアメリカ・メリルリンチ 文化財保護プロジェクト

バンクオブアメリカ・メリルリンチは、歴史的・文化的意義が大きく、かつ劣化の恐れのある芸術作品の保存・修復を目的に、世界の美術館・博物館に助成金を提供しています。国宝指定を受けているような重要な作品も、対象作品として含まれています。2010年に始まった本プロジェクトでは、今までに世界28カ国で85の芸術作品の修復を支援しています。日本では、2012年のプロジェクトとして狩野永徳筆 国宝「檜図屏風」と中国の陳容筆 重要文化財「五龍図巻」(いずれも東京国立博物館蔵)、2013年のプロジェクトとして渡辺華山筆 国宝「鷹見泉石像」等三点(東京国立博物館蔵)、2015年のプロジェクトとして当「序の舞」の修復を支援しました。2016年のプロジェクトもすでに支援作品の選定が始まっており、日本で所蔵される美術品の保存・修復も支援する予定です。